

学校と家庭がつながり

子どもの「学び」を支える

好きなことに没頭すること

季節を感じること

お気に入りのもの

美しいと感じること



すごいなあと思うこと

夢や願いを

思いえがくこと

地域にあるもの



実際に
体験すること



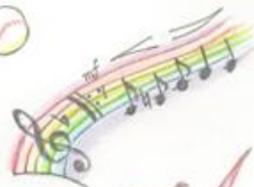
自然に触れること

楽しいこと

面白いこと



自ら興味を持つこと



何気ない遊び



チャレンジしてみること



子どもたちの生活の中の

様々な出来事が

「学び」につながっています

※ 上の絵や言葉は一例です。

このリーフレットは、家庭学習などにおける「お子さんへの関わり方」を紹介しています。

お子さんが、「学ぶことの楽しさ」や「自らつくりだす喜び」などを安心して味わうことができるように、見守ったり励ましたりしていきましょう。

横須賀市教育委員会

家庭と学校の学びをつなげる 言葉かけ

なるほどね

～と考えたんだね

ここまでがんばったね

お子さんが家庭学習に取り組んでいるときに、いつもそばにいてあげるとは難しく、出来上がってからそれを目にすることが多いと思います。

ときには、(これでいいの?)と思うかもしれませんが、

そんなときは一呼吸おいて、「なるほどね」「～と考えたんだね」と声をかけてあげてください。

未完成であっても「ここまでがんばったんだね」と認めてあげてください。

まずは、お子さんの“取り組んだこと”に対して、寄り添ったり、励ましたりするなど、受け止め、共感することが大切です。

実は、学校でも…

横須賀市教育委員会では、学力に関する調査の結果を分析しています。その中で、関連データが上昇した学校に、児童との関わりについて「大切にしていること」を聞き取ったところ、「児童の発言を肯定的に受け止めること」、「児童の話を最後まで聴くこと」などを大切にしているとのことでした。



実際の授業で、教師が多く発していたのは、「なるほど」「そうなんだね」「たしかに」などの言葉でした。教師が児童の言動を肯定的に受け止め、共感することで、教室内に「学びに向かう雰囲気」が生まれ、結果としてデータが上昇したのだと捉えています。



家庭での「学び」を支えるために… (環境や時間を整える)

ご家庭の中には、お子さんにとって魅力的なものがいくつもあります。家庭で学習に集中できないときには、右の3つのことを参考に声をかけてみてください。

パソコンやスマホ、ゲームなどを使ってもいい時間帯や内容を、親子で決めておく。

机の上やまわりを整理整頓することの気持ちよさを味わえるようにする。

学習に取り組んでいる間は、テレビを消すなどして集中できる環境にする。



入学説明会等で配付している資料もあわせてご覧ください。(下の二次元コードから確認することもできます)



家庭と学校がつながり、お子さんの学びに向かう力を育てていきましょう。